

伝えたい *Fukuoka* ^{Vol. 2}



伝えたい *Fukuoka* ^{Vol. 2}

公益社団法人 福岡県観光連盟
<http://www.crossroadfukuoka.jp>

2019年3月発行



伝えたい *Fukuoka*

福岡県には、地域の人々に愛され、守り続けられてきた歴史、伝統文化、自然や新たに誕生した体感スポットがたくさん存在しています。

この冊子では、まだまだ伝えきれていない福岡県の魅力を新たな視点とともに紹介しています。改めて知る福岡、新しく知る福岡を見つけには是非訪れてください。

歴史ある建物を今に伝える..... 1

- ① 門司港駅舎 ② 旧門司三井倶楽部
- ③ 福岡市赤煉瓦文化館 ④ 旧福岡県公会堂貴賓館
- ⑤ 西南学院大学博物館

歴史ロマンを伝える..... 5

- ⑥ 戸板山神社 ⑦ 鴻臚館 ⑧ 伊都国歴史博物館
- ⑨ 石穴稻荷神社 ⑩ 観世音寺宝蔵
- ⑪ 甲宗八幡宮 ⑫ 足立山妙見宮

「ダムで楽しむ」を伝える..... 7

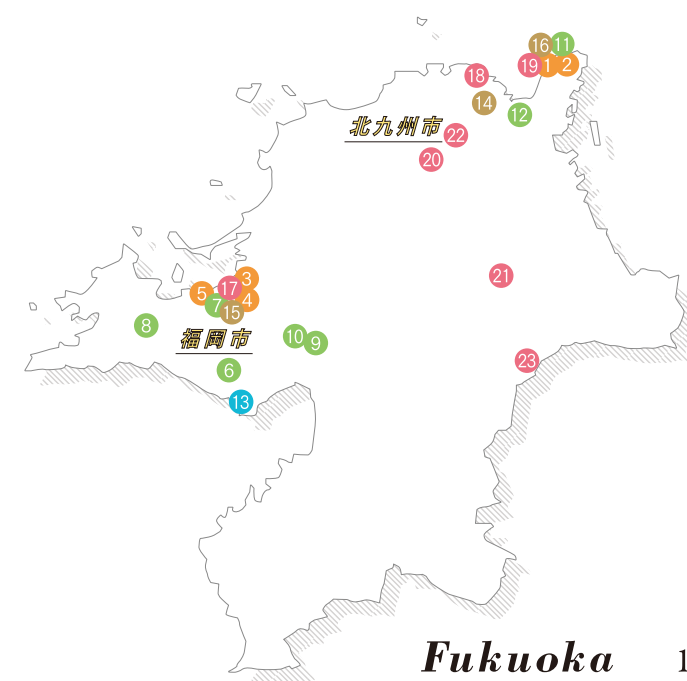
- ⑬ 五ヶ山クロス

学ぶ楽しさを伝える..... 8

- ⑭ 北九州市立いのちのたび博物館 ⑮ 福岡市科学館
- ⑯ 九州鉄道記念館

乗り物の楽しさを伝える..... 9

- ⑰ ザ レールキッチン チクゴ ⑱ 若戸大橋とぼんぼん船
- ⑲ 北九州銀行レトロライン「潮風号」
- ⑳ ことごと列車 ㉑ 赤村トロコ列車
- ㉒ 皿倉山ケーブルカー ㉓ 英彦山スロープカー



歴史ある建物を今に伝える

1914年に創建され、1988年に鉄道駅として日本で初めて重要文化財に指定された門司港駅舎。約6年間の保存修理を経て2019年3月10日に大正時代の姿に復原されました。外壁は石貼り風にモルタルを塗り、屋根には天然の石盤、失われた屋根廻りの飾りが復原されています。また、建設当初の内観を復原し、1階の旧三等待合室はスターバックスコーヒー、2階は建築当時に営業していた「みかど食堂」を再興し、洋食レストランとして活用されています。

📍 JR九州門司港駅 TEL/ 093-321-8843



スターバックスコーヒー



みかど食堂by NARISAWA



旧貴賓室



② 旧門司三井倶楽部

1921年に三井物産門司支店の社交倶楽部として建てられました。1922年にアインシュタイン博士が来日した際に宿泊したことのある由緒ある建物で、1990年に国の重要文化

財に指定され、現在、1階には和洋 레스토랑や多目的ホール、2階にはアインシュタイン・メモリアルルームや北九州市門司区出身の作家・林芙美子の記念室があります(2階有料)。

●門司港レトロインフォメーション TEL/ 093-321-4151



④ 旧福岡県公会堂貴賓館

1910年に迎賓館として建築されたフレンチ・ルネサンス様式を基調とする木造建築物で、国の重要文化財に指定されています。建物は二階建て、正面中央部分に石柱付の玄関ポーチが張り出し、東に八角の尖塔付塔屋

が高く聳え、1階は応接室、2階は貴賓室や賓客の宿泊室が並び、部屋毎に異なる趣向が凝らされています。現在、館内には、「貴賓館カフェ」やレトロなドレスを体験できるコーナーもあり、「河畔に建つチューリップ屋根の公会堂」として県民に親しまれています。

●旧福岡県公会堂貴賓館 TEL/ 092-751-4416



⑤ 西南学院大学博物館

日本で多くの西洋建築を手がけたウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計により1921年に完成。赤煉瓦造りで外観は古典様式であるジョージアン・コロニアル・スタイルを基調としています。1931年リンドバーク夫妻、1937年ヘレン・ケラー女史が来訪した由緒ある歴史的建造物で2015年に福岡県指定有形文化財に。現在は博物館となっており、「魔鏡(光を反射させると、キリスト像が投影)」などキリスト教関連の展示物を観ることができます。2〜3階の礼拝堂も見学可能です。



●西南学院大学博物館 TEL/ 092-823-4785



③ 福岡市赤煉瓦文化館

明治時代の我が国を代表する建築家・辰野金吾(東京駅等を設計)と片岡安の設計により、日本生命保険株式会社九州支店として1909年に竣工。赤煉瓦と白い花崗岩の外壁は、19世紀末のイギリス様式で、他に尖塔やドームなど小規模ながら変化に富ん

でいます。1969年に国の重要文化財に指定され、現在は有料の会議室等を備えた市民に開かれた施設としてオープンしています。2019年は赤煉瓦文化館の建築110周年であるとともに、辰野金吾の没後100年にあたります。

●福岡市赤煉瓦文化館 TEL/ 092-722-4666

いしあないなりじんじゃ
⑨ 石穴稲荷神社

古くは九州三大稲荷の一つにも数えられた、太宰府のお稲荷様です。菅原道真公をお守りして京都からこの地へ勧請されたと伝えられますが、奥宮の巨石群は古代の磐座祭祀を現在にとどめており、平安時代以前より祈りの地として信仰されてきたと考えられます。本殿の横に鳥居があり、この上に奥宮がありますが、この鳥居をくぐる前に備え付けの履物に履き替えてください。奥宮は、鳥居をくぐった先の左手方向で、岩を超えた先の半地下にあります。

📍 石穴稲荷神社 TEL/ 092-922-3528



かんぜおんじほうぞう(しゅうぞうこ)
⑩ 観世音寺宝蔵(収蔵庫)

観世音寺境内東側に位置し、安置される16軀の諸仏(国重要文化財)は平安～鎌倉時代の洗練された造像で、仏教文化が継続して伝わっていたことを示しています。馬頭観世音菩薩像をはじめとした5m級の像は圧巻で、最も古い彫像は兜跋毘沙門天立像で9世紀の作品です。境内にある国宝の梵鐘や、県有形文化財の講堂・金堂も観世音寺の法灯を今に伝えています。

📍 観世音寺 TEL/ 092-922-1811



あだちやまみょうけんぐう
⑫ 足立山妙見宮

「足立の妙見さん」として親しまれている当宮は、和氣清麻呂公が770年に創建した神社です。「妙見さま【造化三神】は北極星・北斗七星が神格化した星霊信仰のご本尊で天空の中央に位置し、「北辰尊星妙見大菩薩」として現在も広く信仰されています。また名称に「足立山」と言われますよう、ここは和氣清麻呂公の足が治ったことから、足(健脚)の神様として信仰篤く、わらじを供えて願掛けする信仰が残っています。門前の狛猪は、清麻呂公が猪に救われた故事に由来します。

📍 足立山妙見宮 TEL/ 093-921-2292



こうそうはちまんぐう
⑪ 甲宗八幡宮

860年に「宇佐神宮」の御分霊を祀り、創建されました。壇ノ浦合戦に勝利した源範頼・源義経が参拝したと伝わっており、近世には細川家・小笠原家から崇拝され、小倉藩の守護神として崇められています。また、小倉藩の特産物であった小倉織は、槍で突かれても矛先を通さなかったことから「災難除け」として全国で有名になりました。当宮では、この小倉織の生地を用いた御守や御朱印帳を授かることができます。縦縞が特徴的なモダンなデザインが人気を集めています。

📍 甲宗八幡宮 TEL/ 093-321-0944



といたやまじんじゃ
⑥ 戸板山神社

那珂川市の奥座敷ともいわれる南畑エリアの南面里(なめり)地区の更に奥、戸板峠の頂上付近にある神社で、磨崖仏の横に山神社の神殿、地藏尊の御堂があります。磨崖仏が刻まれた大岩は、貝原益軒が1703年に黒田藩主に献上した続風土記に『天岩戸神話』に登場する天照大

📍 那珂川市役所 地域づくり課 TEL/ 092-408-8729

神が隠れた岩戸の片方である」との記述があります。神社迄は道路狭隘で駐車場もありませんので車の使用はご遠慮下さい。コミュニティバス南面里バス停から徒歩40分。「那珂川清滝」をご利用の方は施設の駐車場及び天神・博多駅からの施設のシャトルバスの利用が可能です。

※山神社への道は大変狭く、近くに駐車場はございません。



いとこくれきしはくぶつ かん
⑧ 伊都国歴史博物館

約1800年前に築造された国指定史跡「平原遺跡」の出土品(青銅鏡40面・鉄刀・瑪瑙管玉・ピアスなど)は必見。また、平原遺跡の鏡などの出土状況を再現した原寸大の模型、2000年前に築造された「三雲南小路遺跡」出土の甕棺・木棺外壁に張られた金銅製の飾り金具やガラス璧など、弥生時代日本の中心であった伊都国の繁栄や中国・朝鮮半島との交流を示す品々が数多く展示されています。

📍 伊都国歴史博物館 TEL/ 092-322-7083



こうろかん(いこう)
⑦ 鴻臚館(遺構)

「鴻臚館」とは、平安時代に築かれた外交のための迎賓館で、平安京(京都)、難波(大阪)、筑紫(福岡)の3ヵ所に設けられました。その中で唯一遺跡が確認されているのが、福岡市中央区にある筑紫の「鴻臚館」です。7世紀後半から11世紀まで約400年の間、遣唐使や新羅の使節団、商客らを迎え入れたとされます。1987年、平和台球場外野席改修の際、遺構の残存が発見され、翌年から発掘調査が始まりました。

📍 鴻臚館 TEL/ 092-721-0282



きたきゅうしゅうしりつ はくぶつかん(しぜんし・れきしはくぶつかん)
14 北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)

2013年3月にリニューアルした、西日本最大級の総合博物館。館内は、「自然史ゾーン」「歴史ゾーン」に分かれており、「いのちのたび」をコンセプトに、来館された
 北九州市立いのちのたび博物館 TEL/ 093-681-1011

方に楽しみながら学習していただけるようにエンターテインメント性の高い展示が行われています。一堂に並ぶ恐竜の骨格標本は大迫力。歴史資料も充実しています。



ふくおかしかがくかん
15 福岡市科学館

220席のシートがゆったりと配置された6階のドームシアター(プラネタリウム)のドームの直径は九州最大級の25メートルの大きさを誇り、3Dデジタルサウンドシステムにより、驚異の立体感と臨場感を体感できます。5階の基本展示室では、無限の宇宙、わたしたちをとりまく環境、身近な生活を支える科学技術、生命の不思議と仕組み、フューチャーなど、様々な分野をワンフロアで体験することができます。

福岡市科学館 TEL/ 092-731-2525

学ぶ楽しさを伝える

きゅうしゅうてつどうきねんかん
16 九州鉄道記念館

九州鉄道記念館では、蒸気機関車やブルートレインの寝台車、懐かしい特急電車等の人気列車の実物展示や、ミニ鉄道公園では、複線や信号機など本格的な設備で、本物の列車と同じような運転体験が可能。また、館内では切符や列車のヘッドマークなどの懐かし鉄道グッズなど、鉄道文化を学べる展示に加え、門司港駅から西小倉駅のリアルな路線風景の中で運転体験ができる運転シミュレーターも人気です。

九州鉄道記念館 TEL/ 093-322-1006



ご か や ま
13 五ヶ山クロス

福岡都市圏から最も近いアウトドアの聖地を目指した拠点が2019年3月にオープンしました。エリア内は4つに分かれており、飲食や物販スペースを持つ『BASE』、様々なキャンプが楽しめる『CAMP SITE』。川遊びが楽しめる『RIVER PARK』やバンガローやバーベキューが楽しめる『グリーンピアなかがわ』があります。キャンプ以外にもサイクリングやクライミング・トレッキング等、様々なアクティビティが楽しめます。

那珂川市役所 地域づくり課
 TEL/ 092-408-8729



「ダムで楽しむ」を伝える



五ヶ山ダム



20 ことこと列車

2019年3月より運行開始! ゆっくり・おいしい・たのしい「ことこと列車」の旅。事(こと)・事(こと)列車は祭事(まつりごと)・物事(ものごと)・人事(ひとごと)を乗せて直方から行橋まで、田園を里山を水辺や森の中をトンネルを抜けて、懐かしい古き良き時間と空間の列車の旅が楽しめます。車両はJR九州の「ななつ星」を手掛けた水戸岡鋭治氏のデザイン。車内では、2018年「アジアのベストレストラン50」にランクインした福山剛氏監修のフランス料理をお楽しみください。

📍 JTB九州MICEセンター
TEL/ 092-751-2102



Photo by Hiroyuki Mayuzumi



ことこと列車 内観



21 赤村トロッコ列車

赤村トロッコの会が主体となって、月に一度(3月～11月)、廃線となった油須原線を利用して運行されています。文部科学省登録文化財の内田三遺橋梁など赤村の景観を味わうことができます。

📍 赤村役場政策推進室 TEL/ 0947-62-3000



23 英彦山スロープカー

参道スタート地点の銅の鳥居から英彦山神宮奉輦殿までの全長849メートルの道のりを、「神駅」、「参道駅」、「花駅」、「幸駅」の4駅で結んでおり、これまで険しい参道を歩けなかった人も、楽々と登れるようになりました。旧英彦山小学校に併設する形で作られた「花駅」には、当時を偲ばせる資料も多数展示されており、スロープカーをうまく利用しながら、神聖な歴史探訪が楽しめます。

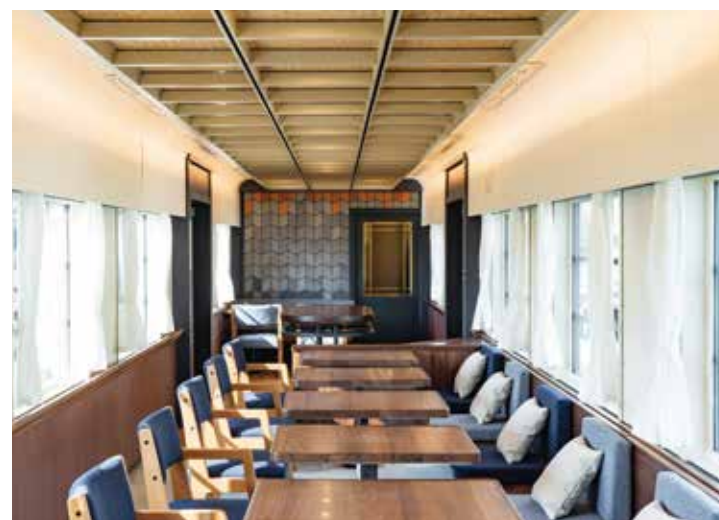
📍 英彦山スロープカー TEL/ 0947-85-0375



22 皿倉山ケーブルカー

西日本最長級のケーブルカー。山麓駅から山上駅まで、緑の中を約5分間で結んでいます。全面ガラス張りの車窓からは刻々と変わる皿倉山の自然と、見事なパノラマ景観が楽しめます。山上駅には「皿倉山ケーブルカー神社」も。ケーブルカーに乗った後はスロープカーで山頂まで。全面ガラス張りのささぎのもののない車窓からの景色は、北九州市内から関門までが望める大パノラマ。夜景の美しさはまるで宝石箱です。

📍 皿倉山登山鉄道株式会社 TEL/ 093-671-4761



ザ レールキッチン チクゴ 内観

17 ザ レールキッチン チクゴ

西鉄天神大牟田線で2019年3月より運行を開始した3両編成52席の列車。天井は八女の竹を使用した竹編み生地、壁や床には城島瓦の技術を用いたいぶし銀のタイルなど地域資源が使われています。食事は車内の窯で焼き上げる旬野菜のピザなど沿線の新鮮な食材を使ったコース料理。西鉄福岡(天神)駅発「ランチの旅」、大牟田駅発「ディナーの旅」をお楽しみください。西鉄福岡(天神)駅から太宰府駅へ向かう「ランチの旅」は6月から運行予定。

📍 西鉄お客さまセンター TEL/ 0570-00-1010



19 北九州銀行レトロライン「潮風号」

大正ロマン薫る海峡の街をのんびり眺めながら揺られる北九州銀行レトロライン「潮風号」。日本一短い区間(2.1km)を、日本一ゆっくりな速度(15km/h)で走行します。トンネルをくぐる際は、列車の天井がスクリーンとなり、関門海峡の魚たちが映し出される楽しい演出もあります。

📍 平成筑豊鉄道(株)門司港事業所 TEL/ 093-331-1065



18 若戸大橋とぼんぽん船

1962年の開通当時、東洋一の長さを誇った若戸大橋は、2018年12月1日の通行無料化に伴いライトアップされ、周辺の工場群と織りなす幻想的な夜景は新たな観光スポットにもなっています。また、今でも市民の通勤、通学の足として若戸大橋の下を運行する若戸渡船(通称: ぼんぽん船)と戸畑・若松両渡し場周辺は、レトロな風景が今も残る情緒豊かな旅情を誘う隠れた観光スポットです。

📍 北九州観光コンベンション協会 TEL/ 093-541-4151
※若戸大橋のライトアップは22時迄

乗り物の楽しさを伝える